

「核兵器のない平和で公正な世界のために」。2019年原水爆禁止世界大会・長崎大会が8月7日～9日に開催され、東京土建本部は14人の代表団を派遣しました。参加者によるレポートを紹介しします。

2019 原水爆禁止世界大会・長崎 東京土建 代表団のレポート



折り鶴を献納する松丸委員長

核持たない勇氣持つ インタビューにもはつきり



NBCラジオのインタビューを受ける福岡さん

悲劇は、今も存在し、この平和の祈りさえもかわしてしまいかも。原水禁長崎大会での3日間、自分の中でも大きな変化を感じた。「核をもたない勇氣をもつこと」を改めて、強く教えてくれた大会だった。これからの核廃絶の運動に生かしていきたい。

被爆を語り伝えたい 核禁止条約調印が最優先

【粕江・南谷 明彦記】唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。



南谷さん

【粕江・南谷 明彦記】唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。

実際に被爆された方々が74年も経ち徐々に亡くなられ、直接話を聞くことが難しくなっています。絶対に風化はさせたいと思います。親から子へ、子から孫としっかり語り伝えて行こうと思います。

義父の靴下で乗り越えた 妻の疎開先での生活

塗装 諸星武司 た。家主は立腹し、このよいうな生意気な子どもには風呂を使わせないといわれ、一時、困窮しましたが、当時、利用者が多かったドラム缶を使い凌ぎました。

政府の見解に憤り 民主主義とは何なのか

【葛飾・主婦・齋藤美恵記】

核兵器廃絶に向けて沢山の国の方々に理解、協力の輪が広がっていることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。



齋藤さん

【葛飾・主婦・齋藤美恵記】核兵器廃絶に向けて沢山の国の方々に理解、協力の輪が広がっていることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。



原爆受難の建設労働者を慰霊する不戦平和の塔

軍事基地佐世保の実態

日本なのに米優先

【三鷹武蔵野・主婦・苅込 美津代記】動く分科会「佐世保基地調査行動」に参加しました。ハワイからインド洋までの広大な地域を戦術範囲とする、第7艦隊の拠点基地である佐世保基地の実態を陸上と海上から見学しました。



苅込さん

【三鷹武蔵野・主婦・苅込 美津代記】動く分科会「佐世保基地調査行動」に参加しました。ハワイからインド洋までの広大な地域を戦術範囲とする、第7艦隊の拠点基地である佐世保基地の実態を陸上と海上から見学しました。

「戦争法が強行採決され早や4年が経過し、再びあの時代に戻るのはないかという危機感が、多くの国民の間に広がっています。なくそう核兵器「憲法を守れ」。私達一人ひとりが一歩を踏み出すことが必要だと実感しました。

8月8日、建設労働者・職人原爆殉難者慰霊祭が、長崎市・爆心地公園内の慰霊碑前で開催。参加は30県連・組合から1700人。

建設労働者を慰霊

折鶴を松丸委員長が献納

8月8日、建設労働者・職人原爆殉難者慰霊祭が、長崎市・爆心地公園内の慰霊碑前で開催。参加は30県連・組合から1700人。

【葛飾・主婦・齋藤美恵記】核兵器廃絶に向けて沢山の国の方々に理解、協力の輪が広がっていることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。

【葛飾・主婦・齋藤美恵記】核兵器廃絶に向けて沢山の国の方々に理解、協力の輪が広がっていることに心強さを覚えました。それとは逆に、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に反対していることが悲しく、政府の見解に憤りを感じました。